

学園広報

vol.126

札幌学院大学学園広報

編集・発行 札幌学院大学 広報入試課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
<http://www.sgu.ac.jp>



新さっぽろ駅周辺地区に2021年4月新キャンパス開設

学校法人札幌学院大学は、新さっぽろ駅周辺地区（札幌市青少年科学館横）に新たな校地を取得し、新校舎を建設して2021年4月より一部の学部学科等に移転、開設する予定です。新キャンパスにおいても、本学の前身校である札幌文科専門学院・札幌短期大学・札幌商科大学から受け継いだ校風「構成員で創りあげる大学」を实践し、地域の知の拠点としての責務を果たして参ります。

新キャンパスコンセプト

交通の要衝である新さっぽろ駅周辺地区に立地する新キャンパスは「多様なこと・ひと・もの (diversity)」との「協働 (collaboration)」を図るキャンパスとして設計されます。地域住民ならびに地元企業のみならずと本学の学生・教職員をつなぐ結節点となるべく「都市型」「開放型」キャンパスを目指します。またそれを実践するための施設として「札幌学院大学産学連携センター」（仮称）を開設し、さらには生涯学習の拠点としてコミュニティ・カレッジを移転し、さらに充実させる予定です。

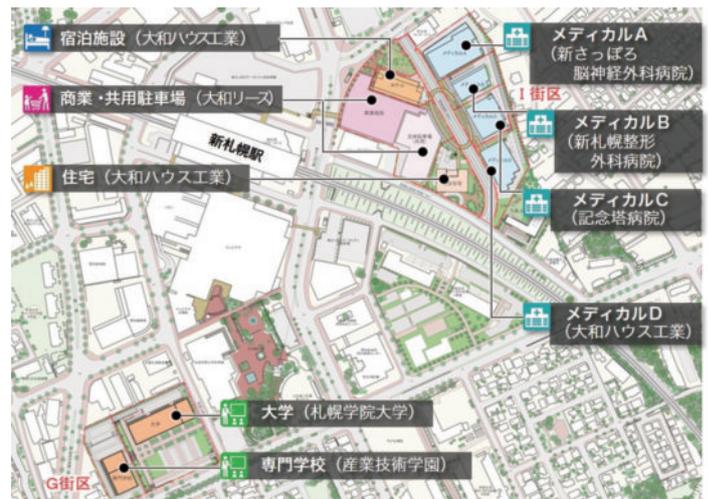
開設・移転予定の研究科・学部・施設について

2021年度には経営学部及び経済学部を再編した新たな学部(学科)を新キャンパスにて展開し、同時に大学院地域社会マネジメント研究科を移転する予定です。

また、2022年度には心理学部、大学院臨床心理学研究科及び心理臨床センターを移転する予定です。



※本内容は2018年10月に札幌市より提示された「新さっぽろ駅周辺地区都市計画の決定」時のものであり、イメージパースを含め今後変更となる場合があります。



関東学院大学と「大学間交流協定」を締結

関東圏の大学と初の大学間交流協定

本学は、関東学院大学（本部：神奈川県横浜市、学長：規矩大義氏）との間で、「大学間交流協定」を締結しました。その調印式が11月30日に本学で行われ、関東学院大学からは規矩大義学長をはじめ4名の方が来学されました。当初は、9月12日に実施する予定でしたが、予定日の1週間前に発生した北海道胆振東部地震の影響で延期となっていたものです。

関東学院大学とは、2001年に経済学部同士で単位互換協定を締結し、学部間での国内留学制度が始まりました。今回、国内留学制度の活性化を目的に、2018年2月に関東学院大学から相談を受け、学部間ではなく大学間であらためて協定を締結する運びとなりました。

本学は、大学間での交流協定を沖縄国際大学、京都学園大学と締結しており、関東圏の大学との大学間の締結は初めてとなります。また、関東学院大学は沖縄大学と大学間交流協定を締結されており、今回の本学との締結で南北の大学との交流が実施されることとなります。

留学期間は1年ないし半年を予定しており、留学期中に取得した単位は、各大学での判断により卒業要件の単位として認定されます。これを機に、両大学が学生はもちろんのこと、教職員の交流も活発になることが期待されます。



学園創立70周年・大学開学50周年記念事業

第43回学術講演会～講演と音楽の夕べ～

【第1部】 「時空と国境を越えて」

講演会 講師：漫画家 ヤマザキマリ氏

【第2部】 いろいろ♪フルートコンサート

演奏会 演奏：八條美奈子氏（フルート） 佐々木聖子氏（ヴァイオリン）

10月27日、学園創立70周年・大学開学50周年を記念して「第43回学術講演会～講演と音楽の夕べ～」がG館SGUホールで開催され、近隣住民、学生、同窓生など約260名の方にご来場いただきました。

第1部の講演では、『テルマエ・ロマエ』などの作品で知られる漫画家でエッセイストのヤマザキマリ氏をお招きし、「時空と国境を越えて」と題し、ご講演をいただきました。ご自身の各地で暮らした経験をもとに、ユーモアたっぷりにお話いただきました。

第2部の音楽は、「いろいろ♪フルートコンサート」と題し、フルート八條美奈子氏、ヴァイオリン佐々木聖子氏による演奏会を開催しました。クラシックから、ポップスなど馴染みのある楽曲を演奏いただきました。



中標津町並びに中標津町教育委員会との地域交流協定締結記念 第44回学術講演会～講演と音楽の夕べ～

【第1部】 「世界初・効果がある脳トレとは —記憶力アップの秘訣—」

講演会 講師：心理学部准教授 大宮秀淑

【第2部】 ノール室内合奏団弦楽四重奏

演奏会 演奏：尾崎亜希子氏、山本泰子氏、宇田梓氏、立木一真氏



本学と中標津町及び中標津町教育委員会は、文化、教育、学術研究、産業、地域振興の分野で相互に協力する協定を2017年12月5日に締結しました。

11月15日、学園創立70周年・大学開学50周年記念事業の一環として、かつ、この地域交流協定締結を記念しまして、中標津町総合文化会館にて「中標津町並びに中標津町教育委員会との地域交流協定締結記念 第44回学術講演会～講演と音楽の夕べ～」を開催しました。

第1部の講演会では、本学 大宮秀淑 心理学部准教授による「世界初・効果がある脳トレとは—記憶力アップの秘訣—」というテーマで講演を行いました。

第2部は、ノール室内合奏団弦楽四重奏（尾崎亜希子氏、山本泰子氏、宇田梓氏、立木一真氏）による演奏会を行いました。来場者をひきつけるトークを挟みながらの50分間の演奏会でした。

なお、中標津での開催ということで、札幌学院大学文泉会中標津支部並びに中標津町の皆様には、事前の広報活動や当日の運営など、多大なるご協力をいただきました。

高校生のための心理学ミニ講話と進学相談会を開催

学園創立70周年・大学開学50周年記念事業の連動企画として11月13日に「心理学部開設記念高校生のための心理学ミニ講話と進学相談会IN釧路」を釧路市観光国際交流センターで開催しました。当日は、室橋春光心理学部長が「心の健康を考える一脳のはたらきから」と題して高校生のための心理学ミニ講話を行い、引き続き中村永友広報入試部長が「大学進学を考

えるヒント」と題して説明を行いました。会場には、高校生・保護者に加えて一般市民の方もお見えになりました。

室蘭市、盛岡市に続いて開催したこの企画は、参加者のオープンキャンパスへの参加、出願に少なからず結びついており、実施一年目としてはまずまずの手応えを感じているところです。

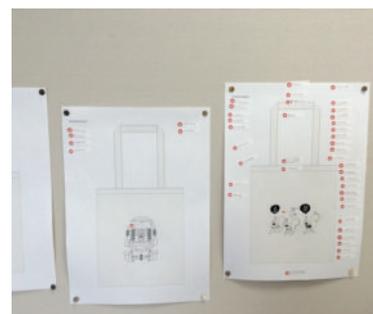
トートバッグ学生投票

学園創立70周年・大学開学50周年を記念して、「札幌学院大学オリジナルデザイントートバッグ」を製作しました。

デザインの決定にあたっては、学生が「通学のときに使いたい」「毎日持ち歩きたい」と言ってもらえるようなものをということで、10月下旬に学生投票を実施し、その結果で決定しました。

イラストは、ほぼ日「やさしいタオル2017-2018冬」どうぶつタオルのイラストなどを手掛けたイラストレーターの坂本奈緒さん、デザインは本学卒業生のヤマザキケイタロウさんをお願いをしました。

投票した在学生の中から、抽選で30名には完成したトートバッグをプレゼントしています。受け取りにきてくれた学生には完成したトートバッグとともに記念撮影をお願いしました。



【学園創立70周年・大学開学50周年記念事業】 パネル展 in 新さっぽろ 光の広場

12月17日から24日の期間で、新さっぽろ サンピアザ 1階 光の広場にて、札幌学院大学の歴史を振り返る「学園創立70周年・大学開学50周年記念パネル展」を開催しました。

パネル展の開催期間中、SGU遊ベンチャーによる小さなお子さん向けの企画や、コラボレーションセンターの学生スタッフによる「謎解きラリー」、北海道ハイテクノロジー専門学校の協力によるe-sport体験企画など、いくつかの参加型イベントも開催しました。

クリスマス前の三連休ということもあり、23日のSGU遊ベンチャーによる企画には200名、24日の「謎解きラリー」には250名のご参加をいただきました。

また、本学卒業生を対象としたアンケートボードを用意しておりましたが、札幌文科専門学院時代の卒業生4名の方をはじめとして、84名の卒業生にご来場いただきました。



学科トピックス

臨床心理学科

土曜教室

臨床心理学科では室橋春光心理学部長を中心に、学習のつまづきがある子どもたちを対象にした「土曜教室」を開始しました。

室橋春光心理学部長は、これまで富山大学や北海道大学で長年にわたり「土曜教室」を開催してきました。本学での開催は、地元江別市や札幌市の子どもたちの心の発達を支える重要な社会資源になるでしょう。



英語英米文学科

ニセコで英語漬けの4日間！

専門科目Oral Communication Dは、毎年好評のAll English Campを実施しました。今年度はやや天候に恵まれず、外でのバーベキューを室内で行うなど予定の変更を迫られました。それでも、外国人教員とのやりとりはもちろん、普段と違う環境でゲームやクイズ、ディスカッションなどでたくさん英語を使い、英語「を」、そして英語「で」楽しむ4日間となりました。



法律学科

高大連携（模擬裁判、模擬選挙）

法律学科では、模擬裁判のシナリオ作りと実演に取り組む科目を開講しています（履修者は1年生）。シナリオは犯罪事件をゼロから考え作り上げるもので独自なものです。

毎年、高校からの依頼に対し、法学部生と教員が高校を訪問し、模擬裁判を実演しています。実演の終了後には、高校生との意見交換を通じて学びを深めています。この模擬裁判は、オープンキャンパスでも実演しています。法律学科では模擬裁判のほかに、学生の主権者教育の一環として模擬選挙や公職選挙の期日前投票の実施にも取り組んでいます。法律学科はこのような活動を通じて学生の成長を目指しています。



会計ファイナンス学科

久しぶりの合格者です！

第23回ビジネス会計検定試験（2018年9月2日 主催：大阪商工会議所）において、久しぶりに合格者が出ました。

本検定は、複式簿記の理解度を問う「簿記検定試験」とは異なり、出来上がった財務諸表を情報として理解し、ビジネスの様々な部分に役立てることに重点を置いた検定です。

入門級（3級）ではありますが、会計の学びの「まとめ」にもなっています。



人間科学科

福島県でフィールドワーク

福島県奥会津地方の昭和村でフィールドワーク実習を行いました。テーマは「自殺者ゼロの秘密を探る」です。住民生活の様子を知るため、野尻集落の方々に話を聞き、交流しました。また、上智大学の調査チームとワークショップをもつなど、貴重な学びの体験をすることができました。



こども発達学科

4年生の「卒業作品」… 模擬教室づくり（教職実践演習）

4年「教職実践演習」では、小学校教師のための学びの総仕上げとして「模擬教室」づくりに取り組んでいます。4月の学級開きへの予行演習を、各種掲示物の作成から学級目標設定などを履修者で協力して行っています。学校現場の人手不足が深刻化する中、「即戦力ルーキー」としてのデビューは目前です。



経済学科

就活成功のコツ教えます

「S&S」、それは、就職内定者の4年生が後輩たちの就職活動のアドバイスをする活動です。本年度、経済学科からは、2名の内定者がこの活動に参加しています。

内定先企業の紹介では、これからその職場で自分自身が働くという立場から、内定先企業の社会的な役割、その中で内定者自身が取り組みたい課題などが、具体的に語られていました。自分が経験した就活を直接下の学年に伝えることで内定者自身も、就職にあたっての決意を新たにできたり、他の内定者とのチームワークを経験できたりといったメリットがあるようです。



経営学科

教室での学びを現場で実践する 広報プロジェクト

経営学科では学外での実践を大切にしています。例えば江別工業団地の企業紹介をするプロジェクトがありますが、その成果を見てジモガク（学生地域定着広域連携推進協議会）から南幌町の企業紹介を、という提案がありました。早速2年生が南幌町役場の協力を得て新たな企画に取り組み始めました。外に出て学び、成果を出す教育の輪が広がっています。



教員採用試験、既卒者も含めて 43名が登録

2019年度採用の教員採用試験には、北海道、札幌市、山形県に、現役4年生から小学校6名、高校商業2名、特別支援学校4名の計12名、既卒者31名（小学校、社会、英語、商業、特別支援学校等）の合計43名（2019年1月7日時点確認分）が登録されました。2018年11月22日には、合格者の努力を労い、経験を教職課程全体のものにするために、G館8階を会場に、「教職をめざす学生交流会」が開催され、後輩たちも教員への決意を新たにしました。



教職をめざす学生交流会（2018年11月22日）

心理臨床センター市民講座

今年度の心理臨床センター市民講座は、「専門職を支える第一線の研究をこの目で見ないか」というテーマで、本学心理学部教授（葛西俊治、村澤和多里、森 直久）3名による講演と体験実習企画を初めての試みで開催しました。例年とは違う幅広い年齢層・職種に参加者にご来場いただき、好評のうちに終わりました。



2018年度ふるさと江別塾が 開催されました

ふるさと江別塾は、江別市と本学を含む江別市内4大学が共同で運営する、リレー講座です。10月27日、「ものは言いよう～伝わるコミュニケーションの特徴とは～」(舩田弘子 文学部教授)と「DIYのまちづくり(Part II)」(石井和平 法学部教授)の2講座が開講され、60名以上の市民が参加されました。講座終了後は活発な質疑応答があり、市民の方々の意識の高さが伺われました。



臨床心理士資格試験4名合格

2018年度に実施された臨床心理士資格試験で、本学大学院臨床心理学研究科の修了生4名（2019年1月16日時点確認分）が合格を果たしました。今回の合格により、2001年度（1期）から2017年度（17期）までの修了生155名中、135名（87%）が臨床心理士として活躍することになります。今後とも、臨床心理士を養成する指定大学院として、より高い評価を得られるよう、教育の充実に努めて参ります。

公開講座 — 大学の知的財産を社会へ発信 —

経済学部公開講座【経済学特別講義B】

「グローバル化と北海道」

今年度の経済学特別講義は「グローバル化と北海道」という総合テーマで行われ、自治体、金融機関、函館税関、及び道内で国際事業を手がけている代表的企業から13名の外部講師をお迎えし、各分野における国際化の現状と課題についてご講演いただきました。道内企業では、特に2000年以降、積極的なサービス貿易や海外直接投資が展開されていることが報告されました。



法学部公開講座【法政総合講座A】

「北海道から全国へそして世界へ 発信する～北海道の潜在力」

2018年度の法学部公開講座は、北海道の魅力、北海道の新しい価値を創造する方々11名のお話を聞き、新しい北海道を作っていく事業の可能性を考え、各分野における現状と課題についてご講演いただきました。どの回も興味の湧くお話をいただき、好評のうちに終了しました。



人文学部公開講座【人間論特殊講義】

人口減少時代の大学と地域の連携

江別市で学んでいるより多くの学生が地域社会の中で生き生きと学び、活動し、活躍するようになるには、大学と地域とがどのような連携を築いていけばよいのかをテーマに8週15回の連続講義を行いました。最終日である7月14日には三好昇江別市長をお迎えし、人口減少時代のまちづくりについてご講演いただきました。



※公開講座は、「道民カレッジ」の連携講座で「えべつ市民カレッジ」との共催です。

大盛況！学長の店「鶴マルシェ」

10月26日、27日に本学生協前にて、秋の大収穫祭「鶴マルシェ」を開催しました。大学や地域を盛り上げ、卒業生をはじめとした生産者を応援しようと、鶴丸俊明学長が企画したもので、大学祭での開催も含めると今回で9回目を数えます。新鮮なマイタケやかぼちゃ、収穫したばかりの新米など、学長が自ら商品を仕入れ、学生たちと共に販売をしました。



27日は学術講演会の開催とも重なり、来場者に大好評で売り切れ商品が続出。来店くださった地域住民・学生をはじめとした皆様、どうもありがとうございました。

保護者懇談会

開催から44年目を迎えた今年度は、9月に帯広と釧路（予定していた函館と青森は北海道胆振東部地震の影響により開催中止）、10月6日には本学で約230名の保護者の皆さまをお迎えし、開催いたしました。



全体説明会では、教育活動、学生支援について、個別面談では、学部教員よりお子様の修学状況（単位修得・成績など）のお話をさせていただきました。

保護者向け就職活動勉強会

10月6日本学での保護者懇談会とあわせて、キャリア支援課主催による「保護者向け就職活動勉強会」を開催しました。当日は石川千温就職部長から企業の採用動向と学生の就職環境、本学の就職支援についての説明に続き、「就職活動を振り返って」と題し、就活を経験した4年生3名によるパネルディスカッションが行われ、終了後も保護者の方々から多くの質問が寄せられました。

学生交流プログラムで国際交流

10月7日から13日まで、協定校であるマレーシアTAR大学から学生10名と教職員関係者3名を本学に迎え、学生交流プログラムを実施しました。

TAR大学とは2017年3月に協定を締結し、学生交流プログラムは今回が初めての実施となりました。マレーシア国籍の留学生を含む、本学のバディ学生16名がサポート役として参加し、日本語授業の実施、北海道神宮、藻岩山、洞爺湖温泉、醤油工場などの訪問や、たこ焼き、手巻き寿司パーティなどが開催されました。北海道の自然や日本文化に触れるたび、そして学生同士の交流が深まるにつれて、TAR大学の学生達からは笑顔があふれ、笑い声が絶えない楽しい交流となりました。なお、2月には派遣プログラムとして本学の学生3名と教職員がTAR大学を訪問し交流する予定です。



第48回大学祭「青嵐祭」

6月30日、第48回大学祭「青嵐祭（せいらんさい）」を開催しました。大学祭前は雨が続きましたが当日は快晴!!屋外ステージではカラオケ大会やビンゴ大会などの企画の他、吹奏楽団や和太鼓会、YOSAKOIサークル、音楽系サークルなどの学内サークルの発表が行われました。また、ゲストを招いて行ったお笑いライブ、音楽ライブもとても盛り上がりしました。

ステージ以外でもゼミナールや学内サークルが露店を開き色々な味覚を提供しました。

校舎内では「学長の店 鶴マルシェ」など、模擬店、展示のほかゲーム大会などが行われ、様々な来場者に楽しんでいただけました。

協賛していただいた多くの企業、大学祭にお越しいただいた皆様、文泉会、大学関係者の皆様へ大学祭実行委員一同お礼申し上げます。



教職員人事

1. 採用

(2018年 8月 1日付)	荻野 昭一	法学部法律学科	教授
(2018年11月 1日付)	田邊 冬花	図書課	
(2018年12月 1日付)	小塚 雅志	広報入試課	
	工藤 祥子	キャリア支援課	



荻野 昭一



田邊 冬花



小塚 雅志



工藤 祥子

2. 退職

(2018年12月31日付)	清水川直子	広報入試課
----------------	-------	-------

3. 異動

(2018年 7月 2日付)	※ () は異動前の所属
管財課長	宮島 由光 (キャリア支援課キャリア支援係長)
情報処理課長	松本 賢彦 (教育支援課長)
教育支援課長	廣嶋 進 (学生支援課長)
学生支援課長	中川 道雄 (管財課長)
広報入試課広報係長	斎藤 美雄 (広報入試課入試係長)
広報入試課入試係長	佐藤 秀之 (教育支援課経済学部係長)
教育支援課経済学部係長	松本 涼子 (広報入試課広報係長)
キャリア支援課キャリア支援係長	斎藤久美代 (キャリア支援課)
総務課 参事	嶋 雅明 (広報入試課 参事)
学生支援課	水上 真一 (総務課)
キャリア支援課 参事	松田 昇一 (学生支援課 参事)
(2018年12月 1日付)	
図書課	三川 豊章 (図書課研究支援係長)
図書課	對馬 理織 (広報入試課)

以上

クラブ&サークル

陸上競技部

今年度の陸上競技部は長距離部門の活躍がめざましく、二つの大学全国駅伝に北海道勢として出場を果たしました。まず10月に開催された第30回出雲全日本大学選抜駅伝競走では、大学単独チームとして今年初出場を果たし、全国の強豪校が集まる中で、最終的に16位と健闘しました。続く3年ぶりの出場となった11月の全日本大学駅伝では、名古屋から伊勢神宮までを走りぬぎ、27チーム中23位に終わっています。全国の壁は厚いですが、来シーズンに向けて選手たちは日々練習に励んでおり、更なる熱い走りに期待したいと思えます。



陸上競技部期待の星 グギ・ローレンス・グレさん(経営学科1年)

二つの大学全国駅伝出場を果たした陸上競技部グギ・ローレンス・グレさん(経営学科1年)にお話を聞きました。

日本に来たのは、4年前の高校入学時です。元々陸上に興味があったこと、将来的に日本でマラソンをやりたい、日本語を勉強したいという思いで、ケニアから日本へやって来ました。第二キャンパスの陸上トラックで走るのが好きで、授業や練習がない日は、自宅で陸上競技関係の雑誌を読み、音楽を聴いて過ごすことが多いそうです。好きな音楽はレゲエで、GOT7の日本語の歌も聴いています。好きな食べ物は焼肉とカレーライスで、学生食堂でもよくカレーライスを食べているそうです。授業や陸上競技部で友人が増え、充実した学生生活を送っています。グレさんの今後の目標は、大学駅伝で道内では優勝、全国では、個人としては区間賞、チームとしては12位を目指したいと意気込みました。



弓道部

北海道内の大学弓道において常に上位を誇る弓道部は、今年も男女ともに活躍しています。8月には、北海道勢の常連校として、全国インカレに出場し健闘している他、10月に行われた北海道学生弓道争覇戦では、女子は惜しくも優勝を逃しましたが、男子は5大学に全勝で優勝するという圧倒的な強さを誇りました。これにより出場を果たした11月下旬の全日本学生弓道王座決定戦では、1回戦で桜美林大学を破り、2回戦で法政大学に惜しくも敗れました。来年度も道内大会連覇と全国大会出場に向けた活躍に注目したいと思えます。



バスケットボール部

今年度は特に女子チームが顕著な活躍ぶりをみせてくれました。昨年度、男女ともに道内大学2部リーグから1部リーグへの昇格を果たし、女子は今年度9月から10月にかけて行われた北海道バスケットボール選手権大会1部リーグで、惜しくも優勝を逃しましたが準優勝で終え、初の全国インカレ出場を果たしました。バスケットボール女子チームは創部4年目とまだ歴史も浅く、その中で勝ち取った全国大会出場は快挙といえます。12月、東京で行われた全国インカレでは1回戦、関東の強豪大学と対戦し惜敗しましたが、この経験をバネとして来年度の更なる躍進と成長に期待したいと思えます。



教員著書紹介

室橋春光、亭阪満里子 編集
『生理心理学と精神生理学 第3巻～展開～』

出版社：北大路書房
出版年月：2018年5月
ISBN：9784762830198
定価：4,968円

本書は3部構成で、第1部ではワーキング・メモリなどを中心に、脳のネットワーク機能について最新の知見を紹介しています。第2部以降では、乳幼児期：脳機能の発達、統合失調症：自己と脳の関わり、自閉スペクトラム障害：認知特性と脳の関わりなど、さまざまな興味深い視点から発達・教育・臨床の各領域に迫っています。



横山登志子 編著
『社会福祉実践の理論と実際』

出版社：放送大学教育振興会
出版年月：2018年3月
ISBN：9784595318733
定価：2,916円

この本は、放送大学の教養学部の科目として開講されている同名のラジオ授業のテキストです。これまで放送大学の福祉関係の科目は社会福祉概論や分野論、政策系科目が中心でしたが、実践系(方法論系)の科目はこれがはじめてとなります。ですので、国内のこの分野で精力的に教育・研究されている4人の方と一緒にテキストを作り、ラジオ授業を収録してきました。社会福祉実践の理論的な内容を、実践にひきつけながら論じていますので福祉に関心のある方は是非手に取ってください。本学からは福祉社会学の立場から「Life(生活)とは何かについて、高齢者の支援実践についてなどは新田雅子人文学部准教授が担当しています。



井手正吾、野呂浩史、荒川和歌子 編集
『臨床現場で活かす！
よくわかるMMPIハンドブック～基礎編～』

出版社：金剛出版
出版年月：2018年3月
ISBN：9784772416047
定価：3,672円

MMPIは、世界的にはロールシャッハ・テストとならび、最も活用されている有名な性格(パーソナリティ)検査です。そのMMPIを使いこなすための、初心者にもわかりやすく、ベテランにも役立つテキストです。本学大学院臨床心理学研究科修了生でクリニックで活躍している荒川和歌子さんが中心になって刊行しました。



村澤真保子、村澤和多里 共著
『中井久夫との対話～生命、こころ、世界～』

出版社：河出書房新社
出版年月：2018年8月
ISBN：9784309248714
定価：2,700円

「風景構成法」や統合失調症の「寛解過程論」で有名な精神科医、中井久夫先生の思想について紹介した著作です。この本は、2015年に本学で行われた講演が執筆のきっかけとなっており、本書の前半にはその準備段階での「対話」がおさめられています。後半は中井先生の思想の根底にある「生命観」をさぐり、新たな理論展開の可能性を探っています。



Information

学位記授与式の挙行について

2018（平成30）年度 学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

〈日 時〉2019（平成31）年3月15日（金）

〈式 場〉札幌学院大学 G館SGUホール

10時 開式

大 学 院 法学研究科
法 学 部 法律学科
社会情報学部 社会情報学科

11時 開式

大 学 院 臨床心理学研究科
人 文 学 部 人間科学科
人 文 学 部 英語英米文学科
人 文 学 部 臨床心理学科
人 文 学 部 こども発達学科

12時 開式

大 学 院 地域社会マネジメント研究科
経 営 学 部 経営学科
経 営 学 部 会計ファイナンス学科
経 済 学 部 経済学科

教育研究振興資金のご協力に深く感謝

同窓生、保護者の皆さまをはじめ多数の方々から寄付金のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

12月31日までの寄付者・ご芳名（掲出承諾者・敬称略）18名

伊藤 光男	梶 忠夫	菅原 秀二	船橋 剛
市村 隆行	柏 秀人	高橋 宏司	松下 公紀
今西 直人	柏崎 雅	谷口 義秋	桃山 光雄
小野木美江	金岩千緒理	辻 智子	
甲斐 陽輔	菅 木綿子	平木 淳一	

【入試情報】大学進学セミナー

進路選択、進学準備を整えるきっかけづくりを目的に、道内主要都市および青森・盛岡で「大学進学セミナー」を開催いたします。

大学進学セミナーでは、学部学科紹介、入試制度、個別相談（入試制度、学生生活、資格・就職、奨学金、一人暮らし他）などについて専門スタッフがご案内しています。

日 程	開催地	日 程	開催地
5月28日(火)	室 蘭	8月31日(土)	帯 広
6月 4日(火)	盛 岡	9月 1日(日)	釧 路
8月24日(土)	旭 川	9月 7日(土)	函 館
8月25日(日)	北 見	9月 8日(日)	青 森

※開催時刻、会場は決まりホームページでご案内いたします。

【入試情報】オープンキャンパス

開催日	時 間	
3月17日(日)	13:00~16:00	
6月15日(土)	13:00~16:00	
7月21日(日)	11:00~16:00	【学びLIVE!】
9月22日(日)	13:00~16:00	
12月 7日(土)	13:00~17:00	【サツガク模試】
2020年 3月20日(金・祝日)	13:00~16:00	



2019年度 大学行事等予定

前 期	後 期
3月 27日(水) 在学生ガイダンス(2・4年)・在学生健康診断(2年)	9月 14日(土) AO入試第1回面談
28日(木) 在学生ガイダンス(3年)・在学生健康診断(3・4年)	21日(土) 後期授業開始
4月 1日(月) 入学式	22日(日) オープンキャンパス
2日(火) 新入生ガイダンス・英語プレースメントテストⅠ	26日(木) 前期末学位記授与式
3日(水) 新入生ガイダンス・英語プレースメントテストⅠ	28日(土) 大学院第Ⅰ期入試
4日(木) 新入生ガイダンス	29日(日) 大学院第Ⅰ期入試
5日(金) 新入生ガイダンス、新入生健康診断	10月 5日(土) 保護者懇談会(本学)
6日(土) 前期授業開始	12日(土) AO入試(本学)
5月 28日(火) 大学進学セミナー(室蘭)	13日(日) AO入試(本学)
6月 4日(火) 大学進学セミナー(盛岡)	19日(土) 編入学試験(A日程)
15日(土) 学園創立記念日(通常授業日)、オープンキャンパス	11月 23日(土) 推薦入試
29日(土) 大学祭	24日(日) 推薦入試
7月 21日(日) オープンキャンパス	12月 7日(土) オープンキャンパス【サツガク模試】
29日(月) 前期定期試験	14日(土) 自己推薦入試A
30日(火) 前期定期試験	1月 11日(土) 英語プレースメントテストⅡ
31日(水) 前期定期試験	18日(土) 大学入試センター試験
8月 1日(木) 前期定期試験	19日(日) 大学入試センター試験
2日(金) 前期定期試験	25日(土) 後期定期試験
3日(土) 前期定期試験	27日(月) 後期定期試験
17日(土) 大学院臨床心理学研究科特別選抜入試	28日(火) 後期定期試験
19日(月) 夏期集中講義期間	29日(水) 後期定期試験
24日(土) (前期科目)	30日(木) 後期定期試験
24日(土) 大学進学セミナー(旭川)・保護者懇談会(旭川)	31日(金) 後期定期試験
25日(日) 大学進学セミナー(北見)・保護者懇談会(北見)	2月 3日(月) 一般入試A
31日(土) 大学進学セミナー(帯広)	4日(火) 一般入試A
9月 1日(日) 大学進学セミナー(釧路)	8日(土) 大学院第Ⅱ期入試
2日(月) 秋期集中講義期間	9日(日) 大学院第Ⅱ期入試
7日(土) (後期科目)	21日(金) 卒業発表
7日(土) 大学進学セミナー(函館)・保護者懇談会(函館)	22日(土) 転学部・転学科試験
8日(日) 大学進学セミナー(青森)・保護者懇談会(青森)	29日(土) 編入学試験(B日程)
	3月 8日(日) 一般入試B・自己推薦B
	19日(木) 学位記授与式
	20日(金) オープンキャンパス

※なお、変更が生じた場合は、大学ホームページにてご案内させていただきます。

SNSで情報配信中

Facebook



twitter



受験生用 LINE



Instagram

